

製品名: カベオリン 1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe85185

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 20 kDa; Observed MW: 20 kDa

抗原情報

遺伝子名	Caveolin 1
別名	CAV1; CAV; Caveolin-1
遺伝子 ID	857.0
SwissProt ID	Q03135
免疫原	ヒトカベオリン-1の組み換えタンパク質

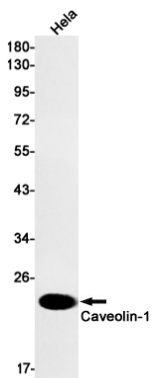
背景

カベオリン-1は、カベオラ膜内で足場タンパク質として機能する可能性がある。Gタンパク質αサブユニットと直接相互作用し、そ

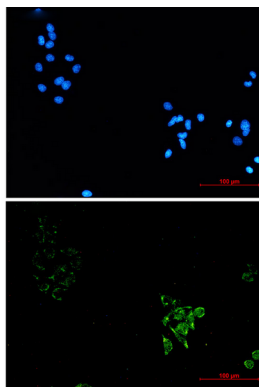
これらの活性を機能的に制御することができる（相同性に基づく）。T細胞受容体（TCR）を介したT細胞活性化に不可欠な共刺激シグナルに関与する。DPP4への結合は、T細胞受容体/CD3依存的にT細胞増殖およびNF- κ B活性化を誘導する。CTNNB1をカベオラ膜にリクルートし、Wnt経路を介してCTNNB1を介したシグナル伝達を制御する可能性がある。

研究分野

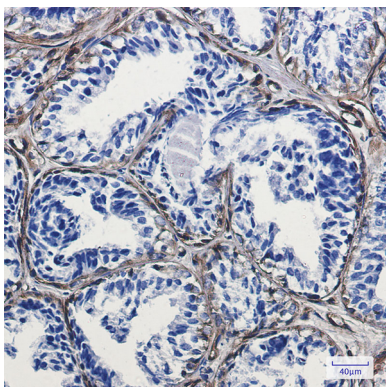
画像データ



Caveolin 1 抗体を使用した HeLa 溶解物中の Caveolin1 のウェスタン プロット分析。



HelaにおけるCaveolin1（緑）のCaveolin1抗体とDAPI（青）を用いた免疫細胞化学分析



Caveolin1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。